年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　国語　　科目 現代の国語

教　科：国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　　H　組

使用教科書：（「現代の国語」筑摩書房　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をも

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕問うこと、語ること 「境目」川上弘美 「サイエンスの視点、アートの視点」斎藤亜矢 ・言語の持つ役割について学び、社会問題や文化に対して問題を提起する力を身につける。	(1) ・話し言葉と書き言葉の特徴、役割を踏まえ、適切な表現委について理解する。 ・主張、論拠、情報の関係について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】実社会から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集・整理して伝え合うことができる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	〔単元名〕評論文への招待 「デジタル社会」黒崎政男 ・対比や具体例、引用などの手法を理解し、論の構造を把握して筆者の主張を読み取る。	(1) ・比喩、例示、言い換えのなどの修辞について理解する。 ・推論の仕方を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	6
	定期考査						1
	〔単元名〕評論文への招待 「ことばとは何か」内田樹 ・対比や具体例、引用などの手法を理解し、論の構造を把握して筆者の主張を読み取る。	(1) ・比喩、例示、言い換えのなどの修辞について理解する。 ・推論の仕方を理解し、使うことができる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	7
	〔単元名〕情報と推論 「失われた両腕」　清岡卓行 ・対比や具体例、引用などの手法を理解し、論の構造を把握して筆者の主張を読み取る。	(1) ・筆者の感動がこの文章の根底にあることを読み取る。 ・倒置や逆説による文の構成や言い換えの表現について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	7
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕〔単元名〕「話し合い」から「議論」へ 「〈私〉時代のデモクラシー」宇野重規 現代社会の特質についての筆者の考えを理解し、自らの考えを議論できるようにする。	(1) ・主張と論拠の関係について理解する。 ・論点を共有し議論の目的に応じて結論の出し方を工夫する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	6
	〔単元名〕「根拠」から「主張」へ 「マルジャーナの知恵」岩井克人 論の展開を整理し、結論の理解だけでなく、筆者の主張の丁寧に読み解く。	(1) ・抽象的な議論の展開を丁寧に読み解く。 ・社会の問題を言語化し、議論できるようにする。 (2))教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	7
	定期考査						1
	〔単元名〕「根拠」から「主張」へ 「魔術化する技術」若林幹夫 論の展開を整理し、結論の理解だけでなく、筆者の主張の丁寧に読み解く。	(1) ・抽象的な議論の展開を丁寧に読み解く。 ・社会の問題を言語化し、議論できるようにする。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	7
	〔単元名〕主張の論理的な伝え方 「来るべき民主主義」國分功一郎 問題の設定の仕方や援用について理解しながら、政治についての議論を的確に読み取る。	(1) ・他者の論を援用しながら自己の論を展開する方法を理解する。 ・社会に対する問題意識を持ち、政治の意味を考える。 (2))教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	7
	定期考査						
3学期	〔単元名〕複眼的な視点 「開かれた文化」 論理的・分析的な読解を通して、自己を相対化する視点を身に着ける。	(1) ・キーワードの指す内容を正確に捉え、筆者の主張を理解する。 ・さまざまな国や地域の風習や文化について調べ、表現に注意しながらその違いをまとめる (2))教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	7
	〔単元名〕複眼的な視点 「名づけと所有」西谷修 論理的・分析的な読解を通して、自己を相対化する視点を身に着ける。	(1) ・ことばを多角的に読み取り、背後に隠された意味や働きを理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。 【思】	○	○	○	7
	定期考査						1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　国語　　科目 言語文化

教　科：国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　　H　組

使用教科書：（「精選　言語文化」（明治書院）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	領域 話・聞	書	読	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕古文に親しむ 「児のそら寝」 説話の面白さを味わう。 文語の決まりを理解し、古文に親しむ。歴史的仮名遣いを理解し、古文を音読する。	(1) ・歴史的仮名遣い ・古語と現代語の相違 ・五十音図 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕古文に親しむ 「絵仏師良秀」 説話の面白さを味わう。 文語のきまりを理解し、古文に親しむ。	(1) ・文・文節・単語、品詞を理解する。 ・古語辞典の活用を学ぶ。 ・動詞の活用を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	〔単元名〕物語１ 「伊勢物語」芥川・東下り 物語における和歌の役割を確認し、歌物語を鑑賞する。	(1) ・和歌の修辞法について理解する。 ・助動詞の意味用法を把握し、内容を丁寧に読み取る。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕漢文入門 故事成語　「蛇足」 ・漢文学習の意義、訓読法について理解する。 ・漢文の基本構造を理解する。	(1) ・書き下し文に直し、訓点が施せるようにする。 ・句法（疑問）を把握し、内容に理解につなげる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】漢文の構造や、漢文特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	領域			評価規準	該当に○			配当時数
			話・聞	書	読		知	思	態	
2学期	〔単元名〕近代１ 「羅生門」芥川龍之介 登場人物の心情の変化に注意しながら、作品の主題を読み取る。	(1) ・登場人物の心情変化とその理由を読み取る。 ・時代背景を踏まえ、文学作品の世界観を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】自国の言語文化に特徴的な語句について理解を深める。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕随筆 「徒然草」 ある人、弓射ることを習ふに 「枕草子」 雪のいと高う降りたるを 随筆について理解する。。 文語文法、古語の意味を的確に把握し、内容を理解する。	(1) ・用言の活用を理解する。 ・係り結びの法則を理解する。 ・古文の常識を理解し、内容理解につなげる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】自国の言語文化に特徴的な語句について理解を深める。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕史伝 「先従隗始」 史伝の背景を理解して漢文の世界に親しみ、当時の思想家の考え方を読み取る。	(1) ・句形（疑問・反語など）を理解する。 ・文の構成から筆者の主張を読み取る。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】漢文の構造や、漢文特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	〔単元名〕日記 「土佐日記」門出・帰京 土佐日記の文学史上の位置を確認し、人物の心情を理解する。	(1) ・諧謔などの表現を理解する。 ・助動詞、連体詞の意味用法を把握し、内容を丁寧に読み取る。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕詩文 「雑説」 比喩表現や文構造を理解し、筆者の主張を正確に読み取る。	(1) ・句形（疑問・反語など）を理解する。 ・文の構成から筆者の主張を読み取る。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】漢文の構造や、漢文特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3学期	〔単元名〕物語２ 「平家物語」木曽の最期 軍記物語の特徴を理解し、当時の人々の生き方や考え方を理解する。	(1) ・対句表現、和漢混交分について学び、表現効果を理解する。 ・敬語について理解する。 ・登場人物の心情を読み取る。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕漢詩 「十一詩」 比喩表現や文構造を理解し、筆者の主張を正確に読み取る。	(1) ・自然・人生・友情をうたった詩を読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・漢詩の表現の特徴を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】漢文の構造や、漢文特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考え広げて言葉を効果的に使おうしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　地理歴史科　　科目 地理総合

教　科：　地理歴史科　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　H　組

使用教科書：（「地理総合」東京書籍　　）

教科　地理歴史科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 現代世界の地域的特色と日本や世界の歴史の展開を理解し、調査や資料から様々な情報を適切で効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的に考察し、社会の課題解決にむけて構想する力や、考察・構想したことを効果的に説明し、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決する態度を養い、多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する姿勢を育てる。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解させる。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的に考察し、課題の解決に向けて構想させる。 考察や構想したことを効果的に説明したり、議論できるようにする。	知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取り組みを行わせる。 地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に解決できるようにする。 多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕私たちが暮らす世界 ・緯度と経度の違いが、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解させる。 ・地球儀と世界地図の違いを理解させ、用途に応じて適切に利用できるようにする。 ・日本の位置と領域を理解させ、排他的経済水域の重要性を考えさせる。	(1)ガイダンス、緯度・経度のちがいと生活、地球儀と世界地図の使い方、日本の位置と領域や排他的経済水域、 (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査用ノートパソコン又はスマートフォン、地球儀、地図	【知】世界地図や地球儀での表現方法や日本の位置や領域についての基本的事項を理解している。地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地球上の位置に関する事項について、緯度・経度や世界地図、地球儀や領域の特徴をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】地球上の位置に関する事項に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕地図や地理情報システムの役割 ・様々な地図の存在を理解させ、地図利用の可能性を考えさせる。 ・地形図や地理院地図の特徴を理解させる。 ・主題図の表現方法の特徴を理解させ、用途に応じた使い分けについて考察させる。 ・GISとは何かを理解させ、活用の可能性を考えさせる。	(1)地図と地理情報システム、地形図と地理院地図、主題図の活用、GIS (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】地図についての基本的事項を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】様々な地図について、縮尺や用途に着目し、適切に整理している。様々な統計数値を、適切な主題図で表現している。GISを操作し、主題図を表示している。 【主】紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して特徴をとらえようとしている。	○	○	○	5
	〔単元名〕資料から読み取る現代世界 ・交通や通信網の整備や人・モノ・情報の移動に関して図表の読み取りから理解させる。 ・地域経済圏や国家群がどのように形成され、現状はどのようになっているかなどについて図表の読み取りから理解させる。 ・国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに注目し、グローバル化の進展について課題意識をもって考察させる。	(1)交通の発達、情報通信の発達,国境をこえる人々の移動、拡大する貿易、つながる世界、多様化する世界 (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】交通・通信技術の発展と国境をこえた様々な結び付きについて、基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】交通・情報通信が国家をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることやグローバル化の拡大について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】交通・通信の発達やグローバル化による社会変化と、それによる問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕生活文化の多様性と国際理解 ・世界には多様な文化が存在し、近年それが均一化する傾向にあることを理解させる。 ・文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解させる。	(1)文化の地域性と多様性、宗教と人々の暮らし (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】世界にみられる多様な文化について、基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地域の文化や文化の違いがなぜ生じるかについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕生活文化と自然環境 ①地形 ・地形が地域によってどのように異なるのか、そのことが人々の生活にどのように影響を与えてきたのかを考察させる。	(1)山地の暮らし、平野の暮らし、海岸の暮らし (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな地形における人々の暮らしについて、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。 【思】さまざまな地形における生活の工夫や独自の文化について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】さまざまな地形における文化や産業の形成とその重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕生活文化と自然環境 ②気候 ・気候が地域によってどのように異なるのか、そのことが人々の生活にどのように影響を与えてきたのかを考察させる。	(1)多様な気候の分布、熱帯の人々の暮らし、乾燥帯の人々の暮らし、温帯の人々の暮らし、亜寒帯・寒帯の人々の暮らし (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな気候における人々の暮らしについて、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。 【思】さまざまな気候における生活の工夫や独自の文化について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】さまざまな気候における文化や産業の形成とその重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕さまざまな地球的課題と国際協力 ・地球環境問題の背景と影響を理解させ、解決策を考察させる。 ・資源・エネルギー問題の特徴を理解させ、生産と消費の在り方を考えさせる。 ・人口問題や居住・都市問題について発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解させ、解決策を考察させる。 ・食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解させ、解決策を考察させる。 ・民族問題の現状と背景を理解させ、改善に向けての取り組みを検討させる。	(1)地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題、民族問題 (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事項を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3学期	〔単元名〕自然環境と防災 ・日本列島の自然環境の特徴と各地域で発生する自然災害の関係性について、世界的視点から考察させる。 ・日本列島のさまざまな自然災害の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察させる。 ・自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響について多面的に考察させる。 ・自然災害が人々の生活や社会全体にもたらす影響をふまえ、防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察させる。	(1)地震災害・津波災害、火山災害、気象災害、都市と自然災害、防災・減災と復旧・復興 (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】日本列島の自然環境と大きな被害をもたらす自然災害についての基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】日本列島の地形や気候と自然災害、防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】日本列島の豊かな自然環境と自然災害や防災に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕生活圏の調査と地域の展望 ・地域調査の手順や具体的な方法を理解させ、身近な地域において地域調査を実践させる。	(1)地域テーマの設定、資料調査、野外調査、まとめと発表 (2)教科書、地図帳、世界の諸地域NOW、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査時に入手した資料、調査・閲覧・まとめ・発表用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】地域調査の手順や注意すべきことを理解し、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 【主】身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和8年度　　教科　地理・歴史　　科目 歴史総合

教　科：地理・歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　H　組

使用教科書：（　『現代の歴史総合』(山川出版社)　）

教科　地理・歴史　　の目標：

【知識及び技能】世界をグローバル化の中で捉え、身近な諸課題でもある、冷戦以降の国際関係や高度情報通信社会、感染症、様々な人々との共存の理念などを歴史的な知識とともに理解する。

【思考力、判断力、表現力等】今現在の私たちにつながる歴史の中にある諸課題を考察し、地球の一員としてどう捉え、どう解決し、生活していくのかを考え、他者に伝え、表現するカを養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を、自分の身近なこととして体的に学び、解決に導こうとする姿勢を育てる。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・定期考査、小テストを行って知識の理解度を測る。 ・資料を用いて読み取り、それをまとめる力を授業中の発問などで測る。	・授業での発問とその解答を評価する。 ・ノートやプリントにまとめた歴史的事象に対する対照的、また相関的な事象の考察の記述を評価する。	・アクティブラーニングでの活動を評価する。 ・課題のまとめ、提出、発表などの内容と取り組みを評価する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
1学期	〔単元名〕歴史の扉～歴史の特質と資料～	(1)歴史総合のガイダンス。及び資料の活用についての学習。　(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】歴史総合のガイダンスをしっかりと聞いているか。 【思】資料を活用方法について、理解できているか。 【主】学び取ろうとする姿勢は見られるか。	○	○	○	1
	〔単元名〕第Ⅰ部近代化と私たち 第1章結びつく世界と日本	(1)18C東アジアに欧米の進出、産業革命、中国の開港と日本の開国、市民革命、国民国家とナショナリズムまでの近代の歴史を扱う。　(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】背景や歴史的な変化の過程、その結果や影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕第Ⅰ部近代化と私たち 第2章国民国家と明治維新	(1)、国民国家とナショナリズムの続き、明治維新と日本の産業革命、帝国主義、変容していく東アジア、日露戦争までの近現代史を取り扱う。　(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】国民国家の成立や日本の近代化、そして帝国主義の成立やその影響、日露戦争とその影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1章総力戦と社会運動	(1)第一次世界大戦、ソ連の成立とアメリカの台頭、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界経済の変容と日本、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加を取り扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】大戦の背景や国際秩序の変化の過程、その結果や影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。夏季休業中の課題内容はしっかりと取り組まれたものか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1章総力戦と社会運動	(1)消費社会と大衆文化 (2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】消費社会と大衆文化の特徴を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	1
	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化や大衆化と私たち 第２章経済危機と第二異世界大戦	(1)世界恐慌、ファシズムと共産主義、日中戦争、第二次世界大戦、国際秩序の変化、占領や戦後改革、冷戦の始まりを扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】第2次世界大戦へとつながる過程、ファシズムや共産主義勢力の動き、大戦と戦後の影響、国際社会の変化を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3学期	〔単元名〕第Ⅲ部グローバル化と私たち 第5章冷戦と世界経済	(1)冷戦下の紛争や脱植民地化、東西両陣営の動向、軍拡と抑制、日本の高度経済成長とアジアの中の日本について取り扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】冷戦や東西陣営の変化、その影響、戦後の日本の発展を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。冬季休業中の課題内容はしっかりと取り組まれたものか。	○	○	○	8
	〔単元名〕第Ⅲ部グローバル化と私たち 第６章世界秩序の変容と日本	(1)石油危機、アジア諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報技術革命とグローバリゼーションについて取り扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】石油危機の経過と影響、アジアの発展、社会主義国の変化、情報化とグローバル化による変化と影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　　数学　　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　H　組

使用教科書：（ 数研出版　数学Ⅰ　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】基本的な概念や原理等を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	適切な手法を選択し問題を解決したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を高める。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕数と式　式の計算 多項式の加法、減法、乗法の計算、因数分解を行えるようにする。	(1)多項式の加法、減法、乗法 因数分解 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】多項式の計算についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に式を変形し、問題を解くことができる。 【主】式の計算に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	〔単元名〕数と式　実数 根号を含む式の計算を行えるようにする。	(1)根号を含む式の計算、分母の有理化、対称式、２重根号 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】平方根、根号を含む式の計算についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、問題を解くことができる。 【主】実数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	〔単元名〕数と式　１次不等式 １次不等式、連立不等式の解を求めることができるようにする。	(1)１次不等式、連立不等式、絶対値を含む不等式 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】不等式についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、不等式を活用して具体的な事象に関する問題を解くことができる。 【主】不等式に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕集合と命題　命題と条件 命題の真偽を判定できるようにする。	(1)命題、反例、必要条件と十分条件 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】命題についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、問題を解くことができる。 【主】命題と条件に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕集合と命題　命題と証明 命題と逆、裏、対偶の関係について理解し、背理法を用いた証明をできるようにする。	(1)逆、裏、対偶 背理法 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】背理法についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、背理法や対偶を用いた証明を行うことができる。 【主】背理法に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕２次関数　２次関数とグラフ ２次関数のグラフをかくことができるようにする。２次関数の最大・最小を求めることができるようにする。	(1)２次関数のグラフ、最大・最小、２次関数の決定 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】２次関数についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】グラフをかいて考察し、様々な問題を解くことができる。 【主】２次関数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕２次関数　２次方程式と２次不等式 ２次方程式、２次不等式を解くことができるようにする。	(1)２次方程式、判別式、２次不等式、連立不等式 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】２次方程式、２次不等式についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、２次関数のグラフとｘ軸の関係を用いて問題を解くことができる。 【主】２次方程式、２次不等式に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	15
	〔単元名〕図形と計量　三角比 三角比、三角比の相互関係、拡張した三角比についての問題を解くことができるようにする。	(1)三角比の定義、三角比の相互関係、拡張した三角比の定義 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】三角比についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、三角比の定義を利用して問題を解くことができる。 【主】三角比に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕図形と計量　三角形への応用 正弦定理や余弦定理を用いて図形の計量を行うことができるようにする。	(1)正弦定理、余弦定理、三角形の面積、空間図形への応用 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】正弦定理や余弦定理について、基本的な概念や原理を理解している。 【思】正弦定理や余弦定理を用いて、問題を解くことができる。 【主】正弦定理や余弦定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3学期	〔単元名〕データの分析 代表値、四分位数、分散と標準偏差、相関係数を求めることができるようにする。	(1)代表値、データの散らばり、分散と標準偏差、相関係数、仮設検定の考え方 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】データの分析についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】目的に応じてデータを分析し、データの特徴を把握することができる。 【主】データの分析に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	〔単元名〕式と計算 ３次式の展開、因数分解、整式の割り算ができるようにする。	(1)３次式の展開、因数分解、整式の割り算 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】整式の割り算についての基本的な性質を理解している。 【思】論理的に考察し、問題を解くことができる。 【主】整式の割り算に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　数学　　科目 数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　H 組

使用教科書：（ 数研出版　数学Ａ　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】基本的な概念や原理等を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ａ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	適切な手法を選択し問題を解決したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を高める。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 準備　集合 第1章　場合の数と確率 1　集合の要素の個数 様々な集合の要素の個数を求められるようにする	(1)集合の基本項目。ドモルガンの法則。和集合、補集合の要素の個数。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】集合についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に集合の要素の個数を求められる。 【主】集合の要素の個数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	2
	〔単元名〕 2　場合の数 3　順列 問題文をきちんと読みとる能力をつけ、順列の公式に結びつけていく能力を養う。	(1)樹形図。和の法則。積の法則。順列。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】場合の数、順列についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に場合の数、順列を求められる。 【主】場合の数、順列に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 4　円順列。重複順列 5　組合せ 問題文をきちんと読みとる能力をつけ、組み合わせの公式に結びつけていく能力を養う。	(1)円順列。重複順列。組合せ。同じものを含む組合せ。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】円順列、重複順列、組合せについての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に順列、組合せを求められる。 【主】円順列、重複順列、組合せに興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕 6　事象と確率 7　確率の基本性質 あらゆる問題のパターンをしっかり読みとり、確率の計算に結びつける考え方を理解させる。	(1)試行、事象。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】事象、確率の基本性質についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に事象、確率の基本性質を求められる。 【主】事象、確率の基本性質に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 8　独立な試行の確率 9　反復試行の確率 反復試行の確率については出題頻度も高いので十分時間をかけ理解させる。	(1)和事象、積事象。独立試行。反復試行。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】独立・反復試行の確率についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に独立・反復試行の確率を求められる。 【主】独立・反復試行の確率に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 １０　条件付き確率 １１　期待値 条件付き確率を利用して原因の確率を求められるようにする。	(1)条件付確率。原因の確率。期待値。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】条件付確率、期待値についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に条件付確率、期待値を求められる。 【主】条件付確率、期待値に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕 第2章　図形の性質 1　三角形の辺の比 2　三角形の外心、内心、重心 および内接円、外接円について図形との関連を理解する。	(1)辺の比。外心、内心、重心。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】外心、内心、重心についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に外心、内心、重心を求められる。 【主】外心、内心、重心に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 3　チェバの定理・ メネラウスの定理 4　円に内接する四角形 チェバの定理、メネラウスの定理を取り上げて理解させる。	(1)チェバの定理。メネラウスの定理。円周角の定理。円に内接する四角形。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】チェバ・メネラウスの定理についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切にチェバ・メネラウスの定理を使える。 【主】チェバ・メネラウスの定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 5　円と直線 6　方べきの定理 接線と弦の作る角、弦や接線の長さに関する方べきの定理を理解する。	(1)接線と弦の作る角。方べきの定理。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】円と直線、方べきの定理についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に方べきの定理を使える。 【主】方べきの定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕 7　2つの円の位置関係 8　作図 2つの円の関係には５通りの場合があることを取り上げ、2つの円の半径、中心間の距離との関係を考察する。	(1)共通内接線、共通外接線。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】2つの円の位置関係についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に2つの円の位置関係を求められる。 【主】2つの円の位置関係に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	2
	〔単元名〕 9　直線と多面体 １０　多面体	(1)オイラーの多面体定理。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】多面体についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に多面体の面の数などを求められる。 【主】多面体に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕 第3章　数学と人間の活動 1　約数と倍数 2　素数と素因数分解 整数の範囲で約数と倍数、素因数分解の理解する。最大公約数、最小公倍数および互いに素という概念を理解する。	(1)約数。倍数。素数。素因数分解。互いに素 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】約数、倍数、素因数についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に約数、倍数、素因数分解を求められる。 【主】約数、倍数、素因数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
3学期	〔単元名〕 3　最大公約数、最小公倍数 4　整数の割り算 整数の範囲での割り算の商と余りを扱えるようにして、余りの計算の仕組みを理解させる。	(1)最大公約数。最小公倍数。整数の割り算。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】最大公約数、最小公倍数についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に最大公約数、最小公倍数を求められる。 【主】最大公約数、最小公倍数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 5　ユークリッドの互除法 6　１次不定方程式 ユークリッドの互除法の応用として１次不定方程式の解が求められるようにする。	(1)ユークリッドの互除法。1次不定方程式。 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】ユークリッドの互除法、1次不定方程式についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に1次不定方程式を求められる。 【主】ユークリッドの互除法、1次不定方程式に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 7　記数法 8　座標の考え方 2進法なども日常にあることを理解する。座標による表記を使いこなせるようにする。	(1)記数法。Ｎ進法。平面、空間の座標 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】記数法、座標についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に記数法、座標を使える。 【主】記数法、座標に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 9　ゲーム・パズルの中の数学 数学により数的処理をしてゲームをする。	(1)魔方陣 (2)教科書、副教材、ＩＣＴ端末	【知】ゲーム・パズルにおける数的処理の基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切にゲーム・パズルにおける数的処理を使える。 【主】ゲーム・パズルにおける数的処理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　理科　　科目 化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｈ 組

使用教科書：（ 数研出版　改訂版化学基礎 ）

教科　理科　　の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い，自然の事物・現象を科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	物質とその変化にかかわる事象から問題を見いだし、観察、実験などを通して、物質とその変化を科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕　序章 化学の特徴 化学の学習における探究の進め方を理解し、化学実験を遂行する上での注意事項についても理解する。	(1)日常生活や社会を支える身近な物質の性質を調べる活動を通して、化学の特徴について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】身近な物質の性質を調べる活動を通して，化学の特徴について理解している。 【思】実験結果を考察してレポートにまとめたり発表したりすることができる。 【主】身近な物質に興味関心を持ち、科学的に探究している。	○	○	○	1
	〔単元名〕第1編　物質の構成と化学結合　第１章　物質の構成 混合物から純物質を得る分離・精製法、成分元素とその検出方法、物質の三態と熱運動を理解し、物質の成りたちを追求する。	(1)物質の分離や精製、元素の確認の実験などを行い，実験の基本操作、単体と化合物、粒子の熱運動と物質の三態変化について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】分離・精製や成分元素の検出法、同素体や熱運動を理解している。 【思】分離・精製法や物質の分類を説明でき、物質の温度変化をグラフに表せる。 【主】物質の分類や物質の状態変化に興味関心を高めている。	○	○	○	6
	〔単元名〕第2章　物質の構成粒子 原子の構造、イオンの生成と安定性、周期表の組み方と元素の分類などを通じて、物質の理解につながる基礎的な考え方を習得する。	(1)原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】原子の構造、単原子イオンの電子配置、周期律を理解している。 【思】原子を構成する粒子、イオンのでき方、周期律について説明できる。 【主】原子の構造やイオン、周期表の組み方に興味を高めている。	○	○		6
	定期考査						1
	〔単元名〕第3章　粒子の結合 1 イオン結合とイオン結晶 物質をつくる粒子の化学結合のしくみを探究する。はじめに、イオンからなる物質の種類や表し方・特徴的な性質を理解する。	(1)イオン間の静電気的な引力によるイオン結合、イオン結合でできた物質の性質、組成式の表し方を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】イオン結晶の名称と組成式を表せ、イオン結晶の特徴を示すことができる。 【思】イオン結晶の構造を模型で説明でき、イオン結晶の性質をまとめることができる。 【主】身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。	○	○	○	2
	〔単元名〕第3章　粒子の結合 2 共有結合と分子 分子からなる物質を、共有結合や配位結合の成り立ち、極性と分子間にはたらく力、高分子化合物の構造を通じて理解する。	(1)共有結合を電子配置と関連付けて理解する。分子式や構造式の表し方、分子からなる物質の性質を理解する。電気陰性度と分子の極性、配位結合、高分子の例にも触れる。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】分子を化学式で表し、共有結合や極性、高分子化合物の構造を説明できる。 【思】分子の構造や形を予想し、分子の極性や分子間力を説明できる。重合反応を説明できる。 【主】分子のでき方、配位結合や極性、高分子に興味をもつ。	○	○	○	6
	〔単元名〕第3章　粒子の結合 3 共有結合の結晶 4 金属結合と金属結晶 共有結合の結晶の性質と物質例、金属結晶の成り立ちと金属の利用について理解する。	(1)共有結合の結晶を、炭素の単体を中心に理解する。自由電子による金属結合の成り立ち、金属結合でできた物質の性質、利用を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】共有結合の結晶や金属の構造、その性質や特徴、組成式を理解している。 【思】ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを示し、金属の性質を自由電子から説明できる。 【主】共有結合の結晶の物質例や金属特有の性質に興味をもつ。	○	○	○	3
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕第2編　物質の変化 第1章　物質量と化学反応式 1 原子量・分子量・式量、物質量 　原子量の概念を理解し、分子量や式量の定義を学ぶ。物質量の概念と数値的な扱い方を演習を通して習得する。	(1)物質量とその単位モルを導入し、原子量、分子量、式量との関係やモル質量との関係を理解する。さらに、粒子数、質量、気体の体積との関係についても理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】原子量・分子量・式量の定義、物質量と質量や気体の体積の関係を示すことができる。 【思】原子量を存在比から求められ、モル質量やモル体積を用いて物質の諸量を計算できる。 【主】原子の相対質量や物質量の概念に興味をもつ。	○	○	○	7
	〔単元名〕2 溶液の濃度 　溶液の濃度の表し方と定義、固体の溶解度と再結晶を学び、溶液の濃度や析出量の数値的な取り扱いを理解する。	(1)質量パーセント濃度についてこれまでの学習を復習し、溶液については溶液の体積と溶質の物質量との関係を表すモル濃度を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】溶液の濃度の表し方について理解し、目的の濃度の水溶液を調製することができる。 【思】質量パーセント濃度とモル濃度の求め方を理解し、その換算ができる。 【主】溶液の濃さの表し方について興味をもつ。	○	○	○	2
	〔単元名〕3 化学反応式と物質量 　化学反応式の表し方を理解し、反応式から量的関係を把握する。また、化学の基礎法則について化学史の視点から理解する。	(1)化学反応式が反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだす。観察、実験を通して物質量と反応式について理解し、観察や実験の技能を身に付ける。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】化学反応式から反応における量的な関係を読み取り、物質量や質量、体積などを計算できる。 【思】化学反応式を正しく表せ、反応式の係数から量的関係を説明することができる。 【主】化学反応式が量的関係の理解に役立つことに興味をもつ。	○	○	○	4
	定期考査						1
	〔単元名〕第2章　酸と塩基の反応 1 酸・塩基 　2 水素イオン濃度とpH 　酸や塩基について２つの定義を学び、酸や塩基の分類、水の電離とpHを理解する。	(1)　酸と塩基の性質、アレニーウスによる酸塩基の定義、水素イオンの授受による酸の定義、酸や塩基の強弱と電離度、pHと水素イオン濃度や水の電離との関係を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】酸・塩基の価数と電離度を理解し、H+の授受で反応を説明できる。pHの内容を理解している。 【思】H+の授受から酸と塩基を識別できる。pHから水溶液の性質やH+濃度を説明できる。 【主】酸やと塩基が示す性質、水の電離に興味をもつ。	○	○	○	5
	〔単元名〕第2章　酸と塩基の反応 3 中和反応と塩 　中和反応の生成物と反応の本質、塩の定義と分類、塩の水溶液の性質について理解する。	(1)中和反応する酸や塩基の強弱と生成する塩の分類、塩の水溶液の性質との関係を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】中和反応を化学反応式で表すことができる。塩の分類を理解している。 【思】塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 【主】中和反応がH+とOH−の反応であることに気づく。	○	○	○	3
	〔単元名〕第2章　酸と塩基の反応 4 中和滴定 　中和反応における量的関係を理解したうえで、中和滴定の操作と実験結果の定量的な扱い、滴定曲線と指示薬の選択について理解する。	(1)実験を通じて中和反応に関わる物質の量的関係を理解する。器具の扱いや溶液の調製など、滴定操作における基本的な技能を身に付ける。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】中和滴定で未知の酸や塩基の濃度を求められる。中和滴定の実験器具を正しく使用できる。 【思】中和の量的関係を数式で表すことができ、滴定曲線と指示薬を理解している。 【主】中和滴定が身近な酸や塩基の濃度決定にも役立つ。	○	○	○	5
	定期考査						1

3学期	〔単元名〕第3章　酸化還元反応 1 酸化と還元 　酸化と還元を酸素、水素、電子の授受で理解し、酸化還元反応を酸化数の変化からも考察する。	(1)酸化と還元の定義を、酸素や水素の授受から電子の授受へと広げて理解する。また、酸化還元反応を、反応に関与する原子やイオンの酸化数の増減から説明する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 【思】酸化還元反応における電子の移動に気づき、酸化数の変化からも酸化還元反応を説明できる。 【主】酸化と還元が同時に起こることに気づく。	○	○	○	3
	第3章　酸化還元反応 2 酸化剤と還元剤 　酸化剤や還元剤のはたらきを電子を含む反応で表し、酸化剤と還元剤の反応を反応式で表せるようにする。酸化還元反応の量的関係も理解する。	(1)代表的な酸化剤と還元剤として、過マンガン酸カリウム，過酸化水素，ヨウ化カリウムなどを取り上げ、それらの間の酸化還元反応を実験を通じて理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】酸化還元反応の量的関係を計算することができる。 【思】酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式から、酸化還元反応の反応式を導くことができる。 【主】複雑な酸化還元反応も、酸化剤と還元剤のはたらき方で理解できることに興味を持つ。	○	○	○	5
	〔単元名〕第3章　酸化還元反応 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用 　金属の反応性をイオン化傾向と関連付けて理解する。酸化還元の応用として、電池のしくみと実用電池、金属の精錬法を理解する。	(1)酸化還元反応に関連して，金属のイオン化傾向やダニエル電池の反応を理解する。また、代表的な実用電池のしくみを酸化還元反応と関連付けて考察する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】酸の酸化力の違いや金属の反応性、金属の精錬を理解している。簡単な電池を作製できる。 【思】金属固有の性質や電池の反応を金属のイオン化傾向から考えることができる。 【主】金属樹や身近にある電池の化学反応に興味を示す。	○	○	○	5
	〔単元名〕終章　化学が拓く世界 　化学基礎で学んだ物質の構造、性質、反応の理解が、食品保存，浄水場，化粧品などさまざまな産業、技術に応用されていることを学び、化学の学習をまとめる。	(1)化学基礎で学んだ事柄が、食品保存や化粧品、水道水など日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解する。 (2)教科書、副教材、ICT、モバイル端末	【知】化学基礎で学習した内容と環境問題との結びつきについて理解している。 【思】暮らしを支える技術と化学の結びつきについて説明できる。 【主】食品保存や浄水場、化粧品などで活かされている化学に興味をもつ。	○	○	○	2
	定期考査						1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　　理科　　科目 生物基礎

教　科：理科　　科　目：生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｈ 組

使用教科書：（ 改定　高等学校生物基礎（第一学習社）　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然科学への知識を深め、中学理科の学びを基に更に発展的に興味・関心を高めていく。

【思考力、判断力、表現力等】学んだことの要点を明確にとらえ、考察し、表現することができる能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】実習やレポート、グループ学習を通じて主体的な学びを深める。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命現象を「生物の特徴」「遺伝子とその働き」「ヒトの体の調節」「生物の多様性と生態系」の４つの側面から学び、興味関心を深める。顕微鏡操作に慣れ、使いこなせるように習得する。	生命現象について疑問や課題を発見し，仮説を設定して考え深めていくことができる。仮説の検証法を具体的に計画することができる。	顕微鏡実習、探究レポート，週末課題などの積極的に取り組み、自ら探究活動の課題を探り深められる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	第１章　生物の特徴 第１節　生物の共通性と多様性 A 生物がもつ特徴 ・現存する多様な生物には共通性があり，その共通性は共通の起源をもつことに由来することがわかる。	(1)生物の共通性と多様性 系統樹の理解 原生生物 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。 【思】生物としての共通の特徴をあげることができ，多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 【主】多様な生物に関心を持ち，形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	○	○	○	3
	B 細胞と生物 ・単細胞生物と多細胞生物の機能における共通性と多細胞生物の体の成り立ちがわかる。	(1)単細胞生物と多細胞生物 多細胞生物の組織と器官 顕微鏡の操作方法の習得と観察（細胞） (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】単細胞生物の構造とその働き，多細胞生物の器官の働き，細胞と組織の多様性がわかる。 【思】単細胞生物の構造と働き，多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。 【主】単細胞生物の構造の多様性と，多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。	○	○	○	3
	C 細胞の構造 ・細胞が基本単位であることがわかる。	(1)細胞発見の歴史 細胞の構造と働き 核の働き (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】細胞小器官の名称と働きを理解し，原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 【思】細胞小器官の名称と働きを理解し，原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主】細胞小器官の特徴と働きに注目する。	○	○	○	3
	第１章　生物の特徴 第２節　生物とエネルギー A 代謝とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。	(1)ＡＴＰの構造と働き (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】ＡＴＰが果たす役割について理解する。 【思】代謝におけるエネルギーについて考えることができる。 【主】生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。	○	○	○	2
	定期考査						1
	B 代謝と酵素 ・ATPと代謝についてわかる。	(1)カタラーゼの働き 酵素の特性 酵素の種類と働き 身近な酵素反応の例 酵素の実験 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】酵素反応の特徴を理解できる。 【思】酵素の働きについて考えることができる。 【主】ＡＴＰとエネルギーの移動，酵素の役割について関心を持つ。	○	○	○	3
	C 光合成と呼吸 ・光合成により光エネルギーを用いて有機物がつくられ，呼吸により有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	(1)光合成のしくみ 呼吸のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【思】細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【主】光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	○	○	○	3
	第２章　遺伝子とその働き 第１節　遺伝情報とDNA A DNA の構造 ・ＤＮＡが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち，塩基の配列が遺伝情報となることがわかる。	(1)ＤＮＡの構造解明 ＤＮＡの構造 ＤＮＡの抽出実験 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】ＤＮＡの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。【探究2-1】肺炎球菌の実験およびバクテリオファージの実験からＤＮＡが遺伝子であることが認められたことを理解する 【思】ＤＮＡの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 【主】遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること，ＤＮＡの特徴について関心をもち考えようとする。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
1学期	B DNA の複製 ・体細胞分裂の分裂前に母細胞のＤＮＡと同じ塩基配列のＤＮＡが作られることがわかる。	(1)染色体の特徴 体細胞分裂のしくみ 体細胞分裂の観察 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。 【思】母細胞のＤＮＡの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。 【主】ＤＮＡが複製されることにより，遺伝情報が伝えられることを調べようとする。	○	○	○	2
	C 遺伝情報の分配 ・細胞周期の間期（Ｇ１，Ｓ，Ｇ２期）と分裂期におけるＤＮＡ量の変化がわかる。	(1)細胞周期に関する演習 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】DNAの抽出について理解する。細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり，遺伝情報の分配の時期がわかる。 【思】細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 【主】体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。	○	○	○	3
	定期考査						1
2学期	第２章　遺伝子とその働き 第２節　遺伝情報とタンパク質の合成 A 遺伝子の発現とタンパク質 ・ＤＮＡの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になることがわかる。	(1)ＤＮＡの塩基配列の意味 タンパク質とアミノ酸 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】基配列と遺伝情報の関係と，アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。 【思】ＤＮＡの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 【主】タンパク質について感心をもつ。	○	○	○	2
	B タンパク質の合成 ・転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。タンパク質が酵素として働くことで，生命現象を支えていることがわかる。	(1)ＤＮＡとＲＮＡ 転写と翻訳のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】転写と翻訳の過程を理解し，遺伝情報が転写されたｍＲＮＡの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 【思】遺伝情報である塩基配列が，アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主】ＲＮＡとタンパク質の構造，および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。	○	○	○	3
	C 遺伝情報と遺伝子発現 ・すべての遺伝子が常に発現しているわけではなく，個体の部位に応じて発現している遺伝子が異なることがわかる。	(1)移動情報の発現 イントロンとエキソン (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが，遺伝子の発現は調節されていることがわかる。 【思】個体を構成する細胞は遺伝的に同一で，部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。 【主】遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。	○	○	○	3
	第３章　神経系と内分泌系による調節 第１節　情報の伝達 A　体液と恒常性 ・生物の体内環境が一定に保たれていること，体内環境とは体液の環境であることがわかる。	(1)体液の種類 体内環境の維持 循環器系 酸素解離曲線 血液凝固のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】体内環境とは体液の環境であり，体内環境が一定に保たれていること，つまり恒常性が重要である。体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き，循環系を理解する。 【思】生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ，循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。 【主】体内環境の恒常性に関心を持ち，体液の成分，体液の働き，循環に興味を持つ。	○	○	○	3
	B　自律神経系と恒常性 ・自律神経系によって心拍数が適切に保たれていることがわかる。	(1)自律神経の種類と働き 心拍数の調節 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】心拍は自律神経やアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。 【思】動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主】体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。	○	○	○	2
	定期考査						1
	C 内分泌系　D ホルモン分泌の調節 ・体内環境がホルモンにより調節されていることがわかる。	(1)内分泌腺とホルモンの種類 フィードバック調節 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され，血液で運ばれてきまった細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。 【思】ホルモンにより器官の活動が調節されており，その量はフィードバック調節されている。 【主】多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心を持つ。	○	○	○	1
	第３章　神経系と内分泌系による調節 第２節　体内環境の維持のしくみ Ａ血糖濃度の調節 Ｂヒトの体温調節 Ｃ水分量の調節	(1)自律神経系と内分泌腺による体内環境の維持 フィードバック調節 血糖値の調節 体温の調節 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読み取る。体温調節における肝臓などが重要な働きをしていることがわかる。腎臓での濃縮率を求めることができる。 【思】体液の恒常性における自律神経や内分泌腺、肝臓や腎臓の働きを考えることができる。 【主】協働により調節されるしくみに関心をもち、それぞれの役割を知ろうとする。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	第４章　免疫 第１節　免疫の働き A 生体防御 ・病原菌などの異物を認識，排除して体内環境を守るしくみがわかる。	(1)生体防御のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】生体防御には異物に対する防御と自然免疫，獲得免疫があることを理解する。 【思】マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 【主】免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。	○	○	○	1
	B 自然免疫 ・非特異的な自然免疫の反応がわかる。	(1)自然免疫のしくみ 食細胞とＮＫ細胞 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。 【思】自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 【主】細菌などを食作用で除く生体防御反応であることを知ろうとする。	○	○	○	1
	C 獲得免疫 ・体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。	(1)体液性免疫のしくみ 細胞性免疫のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 【思】体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主】免疫のしくみに関心を持つ。	○	○	○	3
	D 免疫と病気 ・免疫が実際の病気とどのように関っているのかがわかる。	(1)ワクチン アレルギー 免疫寛容と自己免疫疾患	【知】予防接種，ワクチンと免疫の関係がわかる。 【思】アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【主】予防接種や感染症との関連も含めて，免疫に関する話題に興味を持つ。	○	○	○	3
	定期考査						1
3学期	第５章　植生と遷移 第１節　植生と遷移 A 環　境 ・ 多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっている。	(1)環境要因 土壌の形成 光・光合成曲線の読み取り (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】植物の形態に環境への適応が現れる例があり，光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 【思】植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 【主】植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。	○	○	○	3
	B 植生の遷移 ・陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。	(1)遷移のしくみ (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度，土壌の厚さ，土壌有機物％などの変化をグラフ化し，読みとることができる。 【思】荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 【主】植生の変化に注目し，その要因に関心を持つ。	○	○	○	2
	C 遷移とバイオーム ・気温と降水量の違いによって，地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。	(1)各バイオームの特徴 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思】バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主】世界のバイオームの特色に関心を持つ。	○	○	○	3
	D 日本のバイオーム ・日本のバイオームの特徴がわかる	(1)垂直分布と水平分布 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】水平分布，垂直分布がわかる。 【思】バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。 【主】世界のバイオームの特色に関心を持つ。	○	○	○	1
	第６章　生態系とその保全 第１節　生態系と生物の多様性 Ａ生態系における生物どうしのつながり ・生態系の成り立ちがわかる	(1)生態系の定義 ・生産者と消費者、食物網 ・陸上および水界の生態系 ・生態ピラミッド (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 【思】生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物例をあげて説明できる。 【主】生態系をどのように考えるか、関心が持てる。	○	○	○	2
	Ｂ種多様性と生物間の関係 ・キーストーン種と間接効果について理解する	(1)キーストーン種 間接効果 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】キーストーン種について理解できる。 【思】間接効果について考えることができる。 【主】ヒトデを除去すると生態系の構成種や数が変化することに関心をもち、生態系について理解しようとする。	○	○	○	2
	第６章　生態系とその保全 第２節　生態系のバランスと保全 Ａ生態系のバランスと変動 ・生態系のバランスについて理解する	(1)生態系の変動 かく乱、富栄養化、外来生物、生物濃縮 (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】ＣＯＤなどからアオコの原因を推測できる。 【思】生態系のバランスについて考えることができる。外来生物の影響について考えることができる。 【主】生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。	○	○	○	2
	第６章　生態系とその保全 第２節　生態系のバランスと保全 Ｂ生態系の保全 ・生物多様性の保全の重要性がわかる。	(1)生物多様性の定義 里山の保全 外来生物と絶滅危惧種 環境アセスメント (2)教科書、図表、プリント、 ICT教材（PowerPoint教材）	【知】生物多様性を保全することの重要性がわかる。 【思】生態系の保全が重要であると考えることができる。 【主】環境問題などについて関心をもっている。	○	○	○	2
	定期考査						1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　H　組

使用教科書：（ 新・高等保健体育　大修館　）

教科　保健体育　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 各種の運動の特性に応じた技能および社会性における健康・安全について理解するとともに技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるなど表現することができている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 体つくり運動（男女）	①短距離走 ②新体力テストの意義の理解と練習 ③体育祭の練習	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	4
	〔単元名〕 バレーボール（男女）	①パス 　レシーブ、トスも含む ②スパイク ③サーブ ④ルールの説明 　ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 　ミニゲーム～通常ルール	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	6
	〔単元名〕 陸上競技（男女）	50m走 ５０mハードル 走り幅跳び 投擲（ターボジャブ） 練習・計測	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	6
	〔単元名〕 水泳（男女）	①オリエンテーション・水なれ 　安全確認・注意も含む ②クロール 　泳法 ③平泳ぎ 　泳法 ④タイム計測	【知】実技テスト（タイム計測含む）など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	6
2学期	〔単元名〕 バスケットボール（男女）	①パス ②ドリブル ③シュート ④ルールの説明 　ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 　特別ルール～通常ルール	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	8
	〔単元名〕 サッカー（男）	①パス ②ドリブル ③シュート ④ルールの説明 　ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 　特別ルール～通常ルール	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	8
	〔単元名〕 アルティメット（女）	①ディスクの説明 ②パス ③ルールの説明 　ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 　特別ルール～通常ルール	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
3学期	〔単元名〕 持久走	①オリエンテーション 　安全確認・注意　含む ②持久走 　時間走・タイム計測など ③タイム・記録計測	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	8
	〔単元名〕 体育理論	①各授業において 各種トレーニングを継続しておこなう。 ②振り返りシートの作成　など ③まとめ	【知】実技テスト　など 【思】実技テスト・振り返りシート　など 【主】振り返りシート・授業態度　など	○	○	○	－
	定期考査						

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　　保健体育　　科目 保健

教　科：保健体育　　科　目：保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　H　組

使用教科書：（ 新　高等保健体育　－大修館－　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】　健康・安全について理解するとともに知識を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　保健についての自他や社会の課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに，技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに，目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 第1章　現代社会と健康 １．日本における健康課題の変遷 ２．健康の考え方と成り立ち ３．ヘルスプロポーションと健康にかかわる環境づくり ４．健康に関する意思決定・行動選択 ５．現代における感染症の問題 ６．感染症の予防 ７．性感染症・エイズとその予防 ８．生活習慣病の予防と回復	(1) 1,さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明する。 2,我が国の健康問題について説明する。 3,生活習慣病について種類や要因について説明する。 4 (2) ICTパソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン　など	【知】　定期考査・小テスト 【思】　学習プリント・ノート提出 【主】　ノート・授業態度	○	○	○	10
	定期考査			○			1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕 現代社会と健康 ９．身体活動・運動と健康 10．食事と健康 11．休養・睡眠と健康 12．がんの予防と回復 13．喫煙と健康 14．飲酒と健康 15．薬物乱用と健康 16．精神疾患の特徴 17．精神疾患への対応	(1) ・がんの種類や要因・対策などについて説明する。 ・運動・食事・休養・睡眠と健康の関係について、例をあげて説明する。 ・喫煙者やその周囲に起こる害や喫煙対策について説明する。 ・飲酒による短期長期の影響や様々な対策について説明する。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響や対策について説明する。 ・様々な精神疾患についての説明・予防法・回復について説明する。 (2) ICTパソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン　など	【知】　定期考査・小テスト 【思】　学習プリント・ノート提出 【主】　ノート・授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○			1
3学期	〔単元名〕 安全な社会生活 １．事故の現状と発生要因 ２．交通事故防止の取り組み ３．安全な社会の形成 ４．応急手当の意義と救急医療体制 ５．日常的な応急手当	(1) 安全な社会生活 ・事故・自然災害・犯罪などの実態を説明しその環境整備や責任などについて説明する。 ・応急手当の意義について説明し傷病者への確認・観察するポイントをあげることができる。 ・日常的なケガや熱中症の応急手当の手順や方法について説明し実際にできるようにする。 ・心肺蘇生法の方法と手順を説明し実際に行えるようにする。 (2) ICTパソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン　など	【知】　定期考査・小テスト 【思】　学習プリント・ノート提出 【主】　ノート・授業態度	○	○	○	5
	定期考査			○			1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　B　組

使用教科書：教育芸術社　MOUSA1

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけられるようにする。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	該当に○ 知	該当に○ 思	該当に○ 態	配当時数
1学期	豊かな発声方法を身につけよう	(1) ・姿勢および呼吸方法 ・鼻腔共鳴 ・基本的な発声トレーニング (2) 教科書、スマートスクール端末	○				【知】豊かな響きのある発声をするために必要な，適切な体の使い方、発声方法の技能を身につけている。 【思】自身の声質や発声方法を振り返り，どのような工夫を行うべきか、考えながら試行錯誤を繰り返し行っている。 【主】豊かな響きのある発声を身につける活動に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	ハーモニーを感じて歌おう（東京都立豊多摩高等学校）	(1) ・呼吸や口の形など基礎技術 ・楽譜の読み方 ・他パートとの関わり方について ・フレージングについて ・筆記試験 ・実技試験 (2) 東京都立豊多摩高等学校校歌、スマートスクール端末	○				【知】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，楽曲にふさわしい発声，言葉（歌詞）の発音などの技能を身につけている。 【思】旋律や声の音色を理解して，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【主】曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	イタリア歌曲を歌おう（オーソレミオ）	(1) ・イタリア語の発音の特徴 ・楽曲の音楽的特徴 ・楽曲の歌詞の内容および曲想 ・楽曲の音楽的特徴と歌詞が表す心情との関わり ・楽曲に合わせた音楽的表現 ・実技試験 (2) 教科書、スマートスクール端末、ワークシート	○			○	【知】・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，楽曲にふさわしい発声，言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身につけている。 【思】旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【態】イタリア古典歌曲に関心をもち，楽曲の雰囲気をもって，主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	ソルフェージュ力を高めよう	(1) ・模倣演奏 ・聴音（リズム） ・音感トレーニング ・実技試験 (2) 教科書、スマートスクール端末、ワークシート	○	○		○	【知・技】楽譜を読み、演奏するために必要な基礎知識および基礎技術を理解し、習得している。 【思】リズムや旋律、音程を知覚し，それらを演奏や記譜に応用している。 【態】音楽の基礎知識および基礎技術を身につけるための活動に関心をもち，主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当時数
			歌	器	創			知	思	態	
2学期	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう（動物の謝肉祭）	(1) ・標題音楽について ・楽曲の基礎的知識（作曲者、組曲について） ・編成および使用楽器 ・標題を表現するための音楽的工夫の考察 ・レポート作成、発表 (2) 教科書、スマートスクール端末、ワークシート				○	【知・技】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞できている。 【思】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり方について意見を交換するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合うことができている。 【態】音楽を形づくっている要素に注目しながら、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 クラシックギターを演奏しよう	(1) ・楽器の構え方、基本的な奏法 ・基礎練習 ・楽曲演奏（独奏） ・楽曲演奏（アンサンブル） ・実技試験 (2) 教科書、スマートスクール端末、ワークシート		○		○	【知】 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 【思】音色の響きを感じ取りながら，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【態】ギターの独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	〔単元名〕 西洋音楽史を通して、幅広く音楽に触れよう	(1) ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり ・レポート作成 (2) 教科書、スマートスクール端末、ワークシート				○	【知】】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思】音色，旋律，テクスチュア，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】西洋音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で辿ることに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
3学期	〔単元名〕 年度末アンサンブル発表会	(1) ・それぞれの楽器や歌の基本的な奏法 ・演奏表現に必要な基礎技術（アーティキュレーションの表現方法など） ・楽曲の曲想や楽器の音色の表現 ・他パートとの関わり方 ・グループ発表 (2) スマートスクール端末、ワークシート	○	○	○	○	【知】音楽Ⅰの１年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け，歌唱や器楽，創作で表している。 【思】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，歌唱や器楽，創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。 【主】１年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや，音楽Ⅰの１年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心をもち，主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度 （1学年用） 教科 芸術 科目 美術

教 科： 芸術　　科 目： 美術　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 高校生の美術1 116-日文 美1-702 ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】知識は、鑑賞能力と制作を深め、技能は表現を豊かにする術でありそれを育む。

【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と制作を通して自ら考え、感じたことを表現する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】美術に対する関心・意欲・態度をもって美術を愛好する心情、又豊かな感性、情操を育てる。

科目 美術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識は、鑑賞能力と制作を深め、技能は表現を豊かにする術でありそれを育む。	鑑賞と制作を通して自ら考え、感じたことをアウトプットする力をつける。	美術に対する関心・意欲・態度をもって美術を愛好する心情、また豊かな感性、情操を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当時数
			絵・彫	デ	映			知	思	態	
1学期	〔単元名〕オリエンテーション 「美術に触れる」 「画材に触れる」 「クロッキー」	(1)教科書の説明、鉛筆について説明、カッターでデッサン用の鉛筆の削り方の習得、クロッキーとは何か、手のクロッキーを行う。 (2)教科書、鉛筆、コピー用紙、カッター	○			○	【知】教科書で作品を鑑賞し感想を書けたか。 【思】手を観察し構図を考え描くことが出来たか。 【主】意欲的に取り組めたか。	○	○	○	1
	〔単元名〕「クロッキー」	(1)手のクロッキー、人物全身クロッキー (2)鉛筆、コピー用紙	○				【知】対象物をよく観察しているか。 【思】表現力を持って描いているか。 【主】意欲的に取り組めているか。	○	○	○	1
	〔単元名〕「日常から見つける美」	(1)校内の並木道周辺でそれぞれが心が動いたものをスケッチし、絵画へと昇華する。 (2)鉛筆、コピー用紙、ガバン、目玉クリップ、画用紙、鉛筆、水性の絵の具	○				【知】絵の具を適切に扱うことが出来たか。 【思】表現力を持って描けているか。 【主】日常の風景を注意深く観察し心が動くものを見つけることが出来たか。	○	○	○	8
	〔単元名〕「キャラクターデザイン」	(1)デザインとは何か、を学ぶ。キャラクターについて、アイディア出し、イラスト制作をする。 (2)教科書、コピー用紙、画用紙、色鉛筆		○		○	【知】デザインについて理解し制作出来たか。 【思】独自性のあるキャラクターのデザインが出来たか。 【主】意欲的に取り組むことが出来たか。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当時数
			絵・彫	デ	映			知	思	態	
2学期	〔単元名〕「平面構成」	(1)デザインの基礎である平面構成、色面構成を学習する。アイディア出し、下描き、着彩する。 (2)ポスターカラー、ケント紙、鉛筆、定規、マスキングテープ		○			【知】ポスターカラーをむらがなく塗る技能を身につけられたか。 【思】色や形の構成を考え表現ができたか。 【主】丁寧に着彩し意欲的に取り組むことが出来たか。	○	○	○	8
	〔単元名〕「コマどりアニメーション」	(1)アニメーションとは何かを学ぶ。コンセプト決め、アイディア出し、絵コンテ、制作、撮影を行う。最後に自作の作品についてプレゼンテーションを行う。 (2)パソコン、KOMA KOMA×日文、プロジェクター			○	○	【知】アニメーションについて理解を深めたか。 【思】コンセプトを大切にそれを表現することが出来たか。 【主】意欲的に取り組みプレゼンテーションまで出来たか。	○	○	○	8
3学期	〔単元名〕「彫刻、手に馴染む美しいい形」	(1)彫刻とは何か、アイディアだし、道具の使い方、下書き、彫り出し、磨き上げをする。 (2)コピー用紙、鉛筆、木材、彫刻刀、棒やすり、紙やすり	○			○	【知】彫刻や木の材質や道具の使い方を理解したか。 【思】手の感覚をしっかり働かせながら美しい形を表現できたか。 【主】安全に道具を使い意欲的に制作出来たか。	○	○	○	8
	〔単元名〕「鑑賞」	(1)巨匠について学ぶ。 (2)パソコン、プロジャクター、ワークシート				○	【知】巨匠について知識を吸収出来たか。 【思】感性を働かせて鑑賞が出来たか。 【主】意欲的に参加出来たか。	○	○	○	2

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組

使用教科書：（ 教育図書　書Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当時数
			漢仮	漢	仮			知	思	態	
1学期	〔単元名〕 ・書へのいざない ・書写から書道へ ・書体の変遷を知る ・臨書とは何か ・用具、用材の特徴と表現効果	(1)書とはどのような芸術かを考える。 漢字の書体と変遷を知る。 各書体について、字形や特徴を理解する (2)教科書・プリント・PC		○		○	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。書体・書風を理解している 【思】書の良さ・美しさを味わって捉えている 【主】書の良さや美しさを感受し、主体的に取り組んでいる	○	○	○	2
	〔単元名〕 ・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する	(1)隋と唐の文化について知る ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する。 (2)教科書・プリント・PC		○		○	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	〔単元名〕 ・行書 ・行書の特徴を理解する ・さまざまな行書の古典を知る ・王羲之の書道史上の重要性を理解する ・顔真卿の思いと表現を理解する ・日本の書の芽生えを知る	(1)行書の表現の多様性にふれ、行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を理解する (2)教科書・プリント・PC		○		○	【知】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 【思】行書の古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを捉えている。 【主】行書の臨書を通してその書美を学んでいる。	○	○	○	6
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当時数
			漢仮	漢	仮			知	思	態	
2学期	〔単元名〕 ・草書 　臨書を通して草書の筆使いを理解する ・隷書 　隷書の生まれた過程や背景を知り、特徴を理解する ・篆書	(1)真草千字本や曹全碑の鑑賞と臨書を通して、その書美を学ぶ。 基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける (2)教科書・プリント・PC		○		○	【知】草書が成立した過程や特徴を理解している 隷書の直線化、波勢を理解している 【思】草書の特徴の点画の連続や省略を捉えている 【主】漢字の書の幅広い表現に主体的に取り組んでいる	○	○	○	3
	〔単元名〕 ・篆刻 ・篆書の特徴を生かして、草稿・印稿・運刀などができる ・篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻る	(1)篆刻の表し方や美しさを理解する 文字や印材との余白との関係を理解し、全体の構成を考える (2)教科書・プリント・PC・DVD		○		○	【知】篆刻の意義や選文から補刀までの制作手順を理解している 【思】篆刻の歴史を知り、自分の印に工夫を加えている 【主】主体的に姓名印を刻し、作品に押印している	○	○	○	4
	〔単元名〕 ・漢字の書の創作 ・自らの意図に基づき漢字の書の特質に基づく作品を制作する。	(1)・自らの意図に基づき漢字の書の特質に基づく作品の制作。 (2)教科書・プリント・PC		○		○	【知】漢字の書の線質・字形・構成等の表現効果を理解している 【思】意図に基づいた表現について構想し、工夫している 【主】古典の特徴や技法を生かして取り組んでいる	○	○	○	4
	〔単元名〕 ・仮名の書を学ぶ ・仮名の基本用筆を理解する ・仮名の成立と種類を理解する ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付ける ・散らし書きを理解する	(1)日本の名筆を日本の伝統的な書の美を感じる。 仮名の基本的な線・運筆を理解し練習する。 用具・用材を理解する。 (2)教科書・プリント・PC			○	○	【知】古筆を知り、仮名の成立について理解している 【思】名筆を生かした表現、幅広い表現について工夫している 【主】主体的に仮名の書の幅広い学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	〔単元名〕 ・仮名の書の作品制作 ・臨書から創作へ	(1)作品制作の手順を知り、表現を楽しむ 仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして創作する (2)教科書・プリント・PC			○	○	【知】仮名の書の線質・字形・構成等の表現効果を理解している 【思】意図に基づいた表現について構想し、工夫している 【主】古典の特徴や技法を生かして取り組んでいる	○	○	○	3
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				
3学期	〔単元名〕 ・漢字仮名交じりの作品制作 ・臨書から創作へ ・自分自身の表現を求める	(1)漢字と仮名の調和を学ぶ 　言葉と表現の関係を考える 　自らの思いや感動する獄を選び、作品を構想する (2)教科書・プリント・PC	○			○	【知】用筆・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している 【思】漢字と仮名の調和した字形・大きさ・構成などを工夫している 【主】主体的に自分らしい表現作成に取り組んでいる	○	○	○	8
	〔単元名〕 ・生活の中の書 ・葉書や手紙の書式を学ぶ ・暮らしの中に書を積極的に生かす	(1)心をこめて書く、自分らしく書く 書道の学習で身に付けた感性や表現技法が暮らしの中に生かされていることを理解する (2)教科書・プリント・PC	○	○	○	○	【知】目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている 【思】書を生活の中に生かす表現を工夫している 【主】主体的に生活の中から書を探し、特徴を作品に生かすように取り組んでいる	○	○	○	2
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				
	〔単元名〕	(1) (2)					【知】 【思】 【主】				

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和8年度　（第１学年用）　教科　英語　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：英語コミュニケーションⅠ　　科　目：英語コミュニケーションⅠ　　単位数：3　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　　H　組

使用教科書：（ CROWN English Communication ⅠNew Edition（三省堂）　　）

教科　英語　　の目標：

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	領域 聞	読	話[やり]	話[発]	書	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 Lesson 1 Exploring Onomatopoeia	(1)言語・日本文化／スピーチ・ 異文化　雑誌記事 to 不定詞・動名詞 (2)　デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 Lesson 2 Swimming against Adversity	(1)生き方・生活／エッセイ・ 家庭生活 現在完了・現在完了進行形・ 助動詞 (2)デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	定期考査											1
	〔単元名〕 Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	(1)芸術・国際交流／エッセイ・ 地域での活動 関係代名詞 分詞の形容詞的用法 受動態 (2)デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 Lesson 4 Turning off the Tap on Plastic	(1)歴史・日本文化／ プレゼンテーション・学校生活 過去完了・過去完了進行形 関係代名詞what S＋V＋O (O＝疑問詞節 /if節) (2)デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
2学期	〔単元名〕 Lesson 5 Roots & Shoots	(1)環境・共生／インタビュー 分詞構文 it ～ that ... (形式主語) 同格 (2)デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 Lesson 6 Chat with Chatbot	(1)科学技術／雑誌記事・ 家庭生活・学校生活 関係副詞 S＋V＋O＋C (C＝原形不定詞・分詞) (2)デジタル教科書・電子黒板	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】主体的に外国語を用いて会話を図ろうとしている。自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	〔単元名〕 Lesson 7 The Papalagi Never Have Enough Time	(1) 異文化・現代社会・スピーチ seem to ～；it seems that ～ S＋is＋C (C＝that節) S＋V＋C (C＝分詞)	○	○	○	○	○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を	○	○	○	10

		(2)デジタル教科書・電子黒板		外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。				
	〔単元名〕 Lesson 8 Not So Long Ago	(1)平和・歴史／レクチャー・ 学校生活 仮定法過去 S＋V＋O1＋O2（O2＝疑問詞節） 付帯状況を表すwith ～ (2)デジタル教科書・電子黒板	○ ○ ○ ○ ○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
３学期	〔単元名〕 Lesson 9 Our Lost Friend	(1)文化遺産／論説文 受動態の完了形 助動詞＋be＋過去分詞 関係代名詞の非制限用法 (2)デジタル教科書・電子黒板	○ ○ ○ ○ ○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 Lesson 10 Good Ol’ Charlie Brown	(1)生き方・芸術／エッセイ 仮定法過去完了 used to ～; would ～など 形式目的語it (2)デジタル教科書・電子黒板	○ ○ ○ ○ ○	【知】外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	多読　ライティング　ディベート	教科書１０レッスンで扱ったトピックの関連文章を読み、要約をし、意見を述べる。 ライティングを通じて、自分の意見を述べ、ディスカッション・ディベートを行う。	○ ○ ○ ○ ○	【思】幅広い話題について概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】主体的に外国語を用いて会話を図ろうとしている。自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	5

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度(第１学年用)　　教科　英語　　科目 論理・表現Ⅰ

教　科：　英語　　科　目：　論理・表現Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　H　組

使用教科書：　（　(論Ⅰ718) be English Logic and Expression Ⅰ　Smart　(いいずな書店)　　）

教科　英語　　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付ける。「話すこと［やり取り］」，「話すこと［発表］」及び「書くこと」の三つの領域を中心とした発信能力の育成を強化する。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	領域 聞	読	話［やり］	話［発表］	書	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 Lesson 1 Meeting People 自分のことを話す	【題材】 自己紹介 【題材に関するタスク】 ・自己紹介の会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・自己紹介に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・現在形，現在進行形について学んで理解する。 ・現在形，現在進行形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「あいづち」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「あいづち」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕 Lesson 2 Holidays and Weekends	【題材】 休日・週末 【題材に関するタスク】 ・休日や週末に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・休日や週末に関する文章を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・過去形・過去進行形について学んで理解する。 ・過去形・過去進行形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「聞き直す」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「聞き直す」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 Lesson 3 Making Plans	【題材】 予定 【題材に関するタスク】 ・予定に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 【文法】 ・未来を表す表現・未来進行形	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。	○	○	○	6
	定期考査											1
	〔単元名〕 Lesson 4 Travel	【題材】 旅行 【題材に関するタスク】 ・旅行に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・旅行に関する文章を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・現在完了形・現在完了進行形について学んで理解する。 ・現在完了形・現在完了進行形を用いて文を作る。	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○	○	○	6

		【言語の機能】 ・「話を切り出す」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「話を切り出す」表現を用いて文を作る。						【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。				
	〔単元名〕 Lesson 5 Study and Activities	【題材】 学習・課外活動 【題材に関するタスク】 ・学習・課外活動に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・学習・課外活動に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形を学んで理解する。 ・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「同意を求める」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「同意を求める」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 Lesson 6 Food	【題材】 食べ物 【題材に関するタスク】 ・食べ物に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・食べ物に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・能力・可能・推量・許可を表す助動詞を学んで理解する。 ・能力・可能・推量・許可を表す助動詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「お礼を言う」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「お礼を言う」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査													1
	〔単元名〕 Lesson 7 School Life	【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・学校生活に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞を学んで理解する。 ・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「理由をたずねる」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「理由をたずねる」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 Lesson 8 Daily Life	【題材】 日常生活 【題材に関するタスク】 ・日常生活に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・日常生活に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・意志・推定・推量・依頼を表す助動詞を学んで理解する。 ・意志・推定・推量・依頼を表す助動詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「依頼を受け入れる・断る」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「依頼を受け入れる・断る」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
2学	定期考査													1

学期	〔単元名〕 Lesson 9 Transportation Issues	【題材】 交通問題 【題材に関するタスク】 ・交通問題に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・交通問題に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・受動態について学んで理解する。 ・受動態を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「話しかける」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「話しかける」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 Lesson 10 Living Environment	【題材】 生活環境 【題材に関するタスク】 ・生活環境に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・生活環境に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・原級・比較級について学んで理解する。 ・原級・比較級を用いて文を作る。 【言語の機能】□ ・「存在を伝える」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「存在を伝える」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査												1
３学期	〔単元名〕 Lesson 11 Social Problems	【題材】 社会問題 【題材に関するタスク】 ・社会問題に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・社会問題に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・最上級の表現について学んで理解する。 ・最上級の表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 Lesson 12 Making a Wish	【題材】 願い事 【題材に関するタスク】 ・願い事に関する会話を聞いて理解し，質問に答える。 ・願い事に関する情報を読んで理解し，文章を書いたり，発表したりする。 【文法】 ・仮定法過去・仮定法過去完了について学んで理解する。 ・仮定法過去・仮定法過去完了を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「したいことを言う」表現を含む対話を理解し，展開する。 ・「したいことを言う」表現を用いて文を作る。 (2)デジタル教科書／電子黒板	○	○	○	○	○	【知】○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査												1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度　　教科　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　H　組

使用教科書：（ 最新情報Ⅰ　新訂版　　実教出版　　）

教科　情報　　の目標：

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けるとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕 オリエンテーション	(1)・情報科を学習する理由を理解する。 ・情報Ⅰの年間予定、成績基準の概要について理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法，OS・ファイルの基本操作について練習する。 ・CALL教室の使い方を理解する。 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報科を学習する理由を説明できる。 ・情報Ⅰの年間予定、成績基準の概要について説明できる。 ・コンピュータ・アプリケーションを起動終了でき、パスワード管理等をすることができる。 ・ファイルの作成・複製・保存等の管理をすることが出来る。 ・日本語入力ができる。 【思】・どのように学習に取り組んでいけばよいか、考えを述べることができる。 【主】・情報Ⅰを学習することに対する意識を高めるようにしている。	○		○	2
	〔単元名〕 第１章－１　情報と情報社会	(1)１　情報社会と情報 ２　情報の特性 ３　情報のモラルと個人に及ぼす影響 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。 ・情報化が進展する社会の特質について説明することができる。 【思】・情報社会と人間とのかかわりについて考え，理解する。 【主】・ネット依存など，情報化が個人に及ぼす影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善方法を考えようとしている。	○	○	○	2
	〔単元名〕 第１章－２知的財産と個人情報	(1) １　知的財産 ２　情報の利用と公開 ３　個人情報の保護と管理 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・知的財産権について法律を説明することができる。 ・著作権の例外規定や著作物の利用条件に従って，著作物を適切に利用することができる。 【思】・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主】・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響を踏まえて著作物を利用することが出来る	○	○	○	4
	〔単元名〕 第１章－３問題解決	(1)１問題解決　２問題の発見 ３　問題の明確化 ４　解決案の検討 ５　解決案の決定 ６　解決案の実施と評価 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・問題や問題解決の意味，問題解決の手順について説明することができる。 【思】・問題発見のための現状分析の方法を考え，適切に選択できる。 ・問題解決に適合した評価を計画・実施して，分析しやすいように評価結果を纏めることができる。 【主】・試行錯誤しながら，粘り強く問題の発見・解決に取り組むことが出来る。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第１章－３ 情報技術が築く新しい社会	(1) １　社会の中の情報システム ２　情報技術と課題解決 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・POSシステム，電子マネー，電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。 ・人工知能，IoT，仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。 【思】・IoTや人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。 【主】・社会の中の情報システムについて，興味や関心を持っている。	○	○	○	2
	〔単元名〕 第２章－１メディアとコミュニケーション	(1) １　メディアの発達 ２　メディアの特性 ３　コミュニケーションの形態 ４　ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾉｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタ	【知】・ﾒﾃﾞｨｱの機能発達について説明することができる。 ・インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。 【思】・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報 ・メディアを選択して表現することができる。	○	○		2

		タディ情報モラル	・コミュニケーションの形態や特性を考え，コミュニケーションの目的に沿った方法を選択することができる。	○	○		2
	〔単元名〕 第２章－２情報デザイン	(1) 1　社会の中の情報デザイン 2　情報デザインの工夫 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報バリアフリー，ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 【思】・Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるために，ユーザインタフェースを改善の工夫を考えることができる。	○	○		2
	〔単元名〕 第２章－３情報デザインの実践	(1)１　文書の作成 2　プレゼンテーション 3　Webページ (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・文書の基本的なレイアウト，文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに，実際に報告書やレポートを作成することができる。 ・情報を公開する目的で，HTMLやCSSを使ってWebページを作成することができる。 【思】・プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し，適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。 【主】・上記の作成にあたり粘り強く工夫や準備を行うことが出来る	○	○	○	4
	定期考査						1
2学期	〔単元名〕 第３章－１情報のデジタル表現	(1)１　アナログとデジタル 2　2進数と情報量　3演算の仕組み 4　数値と文字の表現　5数値の計算 6　音声の表現 7　静止画と動画の表現 8　情報のデータ量 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・2進数と情報量の関係について説明することができる。・2・10･16進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・静止画や動画などのデータ量を計算できる。 【思】・ｱﾅﾛｸﾞとﾃﾞｼﾞﾀﾙ、圧縮を適切に説明できる。 ・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 ・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第３章－１情報のデジタル表現	(1)１　アナログとデジタル 2　2進数と情報量　3演算の仕組み 4　数値と文字の表現　5数値の計算 6　音声の表現 7　静止画と動画の表現 8　情報のデータ量 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・2進数と情報量の関係について説明することができる。・2・10･16進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・静止画や動画などのデータ量を計算できる。 【思】・ｱﾅﾛｸﾞとﾃﾞｼﾞﾀﾙ、圧縮を適切に説明できる。 ・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 ・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第３章－２コンピュータの仕組みと動作	(1) 1　コンピュータの構成と動作 2　ソフトウェアとインタフェース 3　演算の仕組み (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 【思】・コンピュータの計算の仕組みについて，順序立てて説明することができる。 【主】・コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し，自分で調べようとしている。	○	○	○	1
	〔単元名〕 第４章－１アルゴリズムとプログラミング	(1) 1　アルゴリズムとその表記 2　プログラミング言語 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・フローチャート，アクティビティ図，状態遷移図の描き方を理解している。 【思】・基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて，簡単なアルゴリズムを表現できる。 ・作成したフローチャート，または文章表記が正しいかどうか確かめられる。 【主】・アルゴリズムやフローチャートなどの表記の作成に，興味や関心を持って試行錯誤することが出来る。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第４章－３プログラミングの実践(表計算マクロ言語)	(1)１　プログラミングの方法 2　関数を使用したプログラム 3　探索と整列のプログラム (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・プログラミング言語のおもな種類とその特徴を理解している。 【思】・プログラミングの目的や実行するコンピュータの種類を考慮して適切なプログラミング言語を選択できる。 【主】・プログラミング言語に興味を示し，実際に自ら活用することが出来る。	○	○	○	12
	〔単元名〕 第５章－１情報通信ネットワーク	(1)１　ネットワークの構成 2　情報通信の取り決め 3　Webページとメールの仕組み 4　転送速度とデータ圧縮 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・通信方式・LANを構成する機器について説明することができる。 ・インターネット通信の階層構造，各プロトコルの働きについて説明することができる。 【思】 ・目的に沿って，LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。				

			・目的に応じて，適切にインターネットのサービスを選択して利用することができる。 【主】・インターネットの仕組みやサービスの理解を元に問題の解決にでネットワークの活用できる。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第５章－２情報セキュリティ	(1) 1　脅威に対する安全対策 2　情報セキュリティの確保 3　安全のための情報技術 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報セキュリティの３つの基本的な考え方について説明することができる。 ・メッセージの送受信，デジタル署名，電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。 【思】・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し，対処することができる。 【主】・情報セキュリティポリシーの必要性を感じ適切な状況に応じた対応を考えることが出来る。	○	○	○	4
	定期考査						1
	〔単元名〕 第５章－３ 情報システム	(1) 1　社会の中の情報システム 2　情報技術と課題解決 3　データベース (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・POSシステム，電子マネー，電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。 ・人工知能，IoT，仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。 【思】・IoTや人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。 【主】・社会の中の情報システムについて，興味や関心を持っている。	○	○	○	2
３学期	〔単元名〕 第６章－１　データの活用	(1) 1　データの収集と整理 2　データ分析と表計算 3　データの可視化 4　データ分析の手法 5　データベースとは (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出、関数利用などができる。 ・グラフの種類や機能を理解し，表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。 ・データベースの意味と必要性を理解し，事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。 【思】・問題解決の目的や条件に従って，表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。 ・問題解決の目的に応じて，データ分析の手法を適切に選択し，分析結果を効果的に表現する力がある。 【主】・問題解決のため，表計算ソフトなどを用いて収集した情報をグラフで可視化したりデータ分析することに工夫が加えられる。	○	○	○	4
	〔単元名〕 第６章－２ モデル化とシミュレーション シミュレーションの実際	(1) 1　シミュレーションの実際 2　モンテカルロ法 3　モデル化とシミュレーションによる問題解決 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・確率的モデル・モンテカルロ法をコンピュータでシミュレーションする意義について説明することができる。 【思】・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して，確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができる。 【主】・待ち行列を事例に，表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算したり，パラメータを変更して再度シミュレーションを行ったりするなど，試行錯誤してシミュレーションできる。	○	○	○	6
	定期考査						1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　人間と社会　科目 人間と社会

教　科：人間と社会　　科　目：人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｈ 組

使用教科書：（「人間と社会」改訂版　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会の関わりの中から課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○ 知	思	態	配当時数
1学期	〔単元名〕「ガイダンス～探究学習の意義と目的」	(1) ・探究学習がなぜ重要なのか、どのように進めていくのかを具体的に理解し、主体的に学びに取り組むための心構えを共有する。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、探究活動に必要な知識・技能を理解している。 【思】 テーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明できる。 【主】 自身の心の変化を自覚し、それを振り返ることができる。	○	○	○	2
	〔単元名〕「ミニ探究～探究のサイクルを学ぶ」	(1) ・探究サイクルのイメージをつかみ、今後の探究活動に対する見通しをつける。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解できる。 【思】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる。 【主】探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする。	○	○	○	6
	〔単元名〕「学ぶことの意義」	(1)講演「探究的な学びについて／教育実習生による」 ・探究的な学びとは何か ・自分が探究的な学びで大切にしていること ・高校生活における探究的な学びの意義と役割 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 探究的な学びの過程で、課題を見つけ解決するために必要な知識や技能を身につけ、関連する考え方を深めるとともに、探究学習の意義や価値を理解できる。 【思】 自分の生活や社会とのつながりから問いを発見し、自ら課題を設定して情報を集め、整理・分析し、その成果をわかりやすく伝えることができる。 【主】 探究的な学びに主体的かつ協力的に取り組み、お互いの良さを認め合いながら新たな価値を創り出し、よりよい社会の実現を目指す。	○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項　(2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当時数
				知	思	態	
2学期	〔単元名〕グループ探究「問い」の立て方指導・準備	(1) 「問い」を立てる意義を学び、研究テーマに関する知識と理解を深められるようにする。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付けている。 【思】 「問い」を考察・分析する中で、情報の取捨選択の判断力を身に付けている。 【主】 「問い」を究めることによって、自分の存在意義に気づき、将来の進路実現へと向かう意欲を高め、それを振り返ることができる。	○	○	○	6
	〔単元名〕グループ探究「情報収集の仕方」	(1) 情報収集の仕方を学び、根拠のある仮説が立てられるようにする。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 探究活動を進めていくのに必要な情報を的確に集め、整理・分析する能力を獲得している。 【思】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めていく。 【主】 この単元で得た知識・技能を、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。	○	○	○	7
	〔単元名〕グループ探究「発表・協議」	(1) 自ら立てたリサーチクエスチョンに対して協議をし、多面的な視点から考察を深める。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付けている。 【思】 問いに対して整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を獲得している。 【主】 自己の在り方生き方を考え、社会の担い手としての自覚を醸成し、より良い社会を実現しようとする態度を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	2
3学期	〔単元名〕個人探究「問いを立てる」	(1) グループ探究で得た知見を活かして、個人で「問い」を立てる意義を学び、研究テーマに関する知識と理解を深められるようにする。 (2) ・教科書「人間と社会」 ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解できる。 【思】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる。 【主】探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする。			○	4
	〔単元名〕個人探究「基礎研究」	(1) ・指導事項 自らの研究計画の重要性、目的を明確にし、今後の探究活動の指針となるようにする。 (2) ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知】 自ら選んだ学問分野の研究計画を立てることにより、既存の知識や経験と結びつけながら、構造化する力を身にに付けている。 【思】 計画立案にあたって整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を獲得している。 【主】 計画立案にあたって、自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の担い手として、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	6
	〔単元名〕個人研究「１年間の振り返りと２学年の展望を見据える」	(1) 自分の経験や成果を振り返り、課題や成長点を明確にする。 ２学年での目標や展望を設定し、それに向けた具体的な計画を立てる。 振り返りと展望を論理的にまとめ、分かりやすく表現する。 (2) ・ＩＣＴ機器/個人タブレットＰＣ ・ワークシート	【知識・技能】 １年間の学習内容や探究活動を的確に整理し、資料を効果的に活用できる。 【思考・判断・表現】 自分の経験をもとに課題や成長点を明確にし、２学年の展望について具体的かつ論理的に計画・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りと展望を通して自己の成長を自覚し、次年度への学びに積極的に取り組む姿勢を示す。			○	1